

○ 宗像市農業振興計画 市民意見提出手続き(パブリック・コメント)による意見及び回答(案)について

平成20年2月15日から3月17日まで、宗像市農業振興計画(案)について市民意見提出手続き(パブリック・コメント)を実施し、市民及び利害関係者2人から2通の意見書をいただきました。そのうち、農業振興計画に関する意見及び回答は下記のとおりです。

意見	記載箇所	意見	対応	回答
1	13p 方針4 農業を通じた地域環境の保全①持続可能な農業の推進(3) 耕作放棄地の活用	・都会人への週末農家、体験農家の活用。高齢者の経験者の活用。	原案どおり	グリーン・ツーリズムの推進と併せ、耕作放棄地等の活用方法として実践の参考にさせていただきます。
	14p 方針5 グリーン・ツーリズムの推進①都市との交流による農村地域の活性化(1)グリーン・ツーリズムの推進①農村体験交流プログラムの企画・開発と実践 21p⑧グリーン・ツーリズムの推進(1) 農村体験交流プログラムの企画・開発と実践	・宿泊と様々な体験を組み合わせる。 ・農家からの作業指導及びアドバイス(自然農法、減農薬)。 ・農家に宿泊して農家の方と深く関わる(宗像のファームになってもらう)。 ・とめられない農家のために宿泊施設との提携(ホテル、民宿、その他)。	原案どおり	農村体験交流プログラムの企画・開発にあたって参考にさせていただきます。
	12p 方針3 地産地消の推進②生産者と消費者の食の相互理解(2) 安全で安心な農産物の提供、20p⑥安全で安心な農産物の提供	・高濃度農薬の中国産野菜からの脱却 ・食料自給率の向上	原案どおり	市も、ご指摘の点を施策の1つとして安全で安心な農産物の生産、環境保全型農業の振興を推進してまいります。
	14p 方針5 グリーン・ツーリズムの推進①都市との交流による農村地域の活性化	・宗像にあるもので他地域から人を寄せる。 ・他の産業への副産物	原案どおり	宗像にある魅力を発掘・活用し、交流人口を増加させていく所存です。また、農村を訪れる人が増加することにより、他産業への波及効果ものぞめると考えます。
2	11p③農産物のブランド化推進(3) 農業の6次産業化(農から工、商への展開) ②特産品開発の推進	・農地で研究、試験、実験を重ねて特産物(品)の開発を行ってはどうか。 ・「一市一品」運動の考え	原案どおり	特産物(品)の開発について、市としては、本計画に基づき、地域ごとの特色ある特産品の開発を支援し

	記載箇所	意見	対応	回答
2	19 p (5) 特産品開発の推進。 21 p (4) 環境に配慮した農産物の特産化の推進	<p>で。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産から販売まで「道の駅むなかた」で行う。 ・開発に必要な人材は、シルバー人材センターから。 	原案どおり	<p>ていくことにしており、「一市一品」運動による開発は考えておりません。</p> <p>特産物（品）の生産を「道の駅むなかた」で行うことは、今後の事業展開の参考とさせていただきます。</p> <p>特産物（品）の販売については、「道の駅むなかた」の活用を推進していきます。</p> <p>特産物（品）の開発について必要な人材選定については、ご提案を参考とさせていただきます。</p>